



2019年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年12月5日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東
 コード番号 6778 URL http://www.artiza.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 床次 隆志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 清水 政人 TEL 042-529-3494
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2018年12月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年7月期第1四半期の連結業績（2018年8月1日～2018年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年7月期第1四半期	259	△53.4	△285	—	△282	—	△207	—
2018年7月期第1四半期	557	91.1	△79	—	△67	—	△60	—

(注) 包括利益 2019年7月期第1四半期 △228百万円 (—%) 2018年7月期第1四半期 △63百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年7月期第1四半期	△25.75	—
2018年7月期第1四半期	△7.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年7月期第1四半期	3,825	2,968	77.6	367.80
2018年7月期	3,835	3,197	83.4	396.15

(参考) 自己資本 2019年7月期第1四半期 2,968百万円 2018年7月期 3,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年7月期	—	—	—	—	—
2019年7月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年7月期の連結業績予想（2018年8月1日～2019年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	11.3	△150	—	△148	—	△168	—	△20.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年7月期1Q	9,562,000株	2018年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	2019年7月期1Q	1,491,000株	2018年7月期	1,491,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年7月期1Q	8,071,000株	2018年7月期1Q	8,071,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は3ページをご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年7月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

移動体通信分野では、世界的に多種多様なモバイル端末の普及により、移動体通信の高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が継続しております。国内においてはLTE-Advancedのサービスが普及し、既存のLTEのサービスに対して更なる高速化・大容量化が実現しております。また、LTE-Advancedへの研究開発投資も継続しつつ、LTE-Advanced Proや第5世代(5G)通信方式の商用化へ向けた実証実験も開始され、IoT(Internet of Things)を活用した新たなサービスの実現に向けての研究も行われております。海外におきましても、LTE-Advancedサービスが開始されており、更なる移動体通信の高速化が全世界で進行しております。

また、固定通信分野におきましては、モバイル端末の普及、高速化により、ブロードバンドサービスが定着し、ビデオストリーミング等を中心としたデータトラフィックが急速に増加しております。通信事業者は、急増する多種多様な通信トラフィックに柔軟に対応するため、ネットワークの負荷低減に向けた投資や、ネットワーク処理のソフトウェア化を急速に進めながら、通信インフラの更なる高速化・大容量化を推進しております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い、設備投資や研究開発投資の需要が見込まれる一方で、通信品質の問題や、事業者間による加入者獲得競争、サービスの低価格傾向は定着しており、通信事業者及び通信機器メーカーの投資意欲に関しましては、引き続き選別的な姿勢が継続されるものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) 5Gに対応する製品の開発及び販売
 - (ii) LTE-Advanced及びLTE-Advanced Proに対応する製品の開発及び販売
 - (iii) 欧州、中国、北米、韓国、中東等の海外市場におけるLTE-Advanced対応製品の販売及び市場開拓
 - (iv) LTEに対応する製品の保守及び販売
 - (v) 次世代ネットワーク及びネットワークセキュリティに対応した製品開発・商材開拓及び販売
 - (vi) 通信分野における新事業に向けたマーケティング及び研究開発
- その結果、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

(モバイルネットワークソリューション) 182,464千円(前年同期比64.7%減)

当セグメントの売上高は、182,464千円となりました。移動体通信市場におきましては、第5世代(5G)通信方式の商用化に向けた実証試験が始まっております。当社の顧客である通信事業者及び通信機器メーカーも、当社と同様に現行世代のLTE-Advanced Proと5Gの開発投資を同時に行う状況のため、非常に厳しい投資姿勢が継続しておりますが、当第1四半期におきまして5Gに対応する基地局向け研究開発用テストシステムを受注することができました。しかしながら、納入時期は第1四半期以降となるため、当第1四半期におきましては、LTE-Advanced及びLTE-Advanced Proの研究開発用途向けテストソリューションの国内及び海外向け販売が前年同期比で大幅に減少した結果、前年同期比で大幅な減収となりました。

セグメント損益につきましては、前年同期比での売上の減少に加え、5G向けの研究開発費が前期に引き続き高水準で推移した結果、243,111千円の営業損失(前年同期は営業利益9,793千円)となりました。

(IPネットワークソリューション) 77,107千円(前年同期比88.4%増)

当セグメントの売上高は、77,107千円となりました。ネットワーク監視におけるパケットキャプチャツール「etherExtractor」の販売が前年同期比で増加した結果によるものです。

セグメント損益につきましては、前年同期比で売上高が大幅に増加したことに加え、販売費及び一般管理費が減少した結果、42,832千円の営業損失(前年同期は営業損失89,766円)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高259,572千円(前年同期比53.4%減)、営業損失285,943千円(前年同期は営業損失79,972千円)、経常損失282,992千円(前年同期は経常損失67,280千円)となり、繰延税金資産の計上に伴い、法人税等調整額を75,930千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失207,862千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失60,911千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,433,389千円であり、前連結会計年度末に比べ113,292千円減少いたしました。現金及び預金が168,969千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が336,377千円減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は1,392,330千円であり、前連結会計年度末に比べ103,342千円増加いたしました。工具、器具及び備品が88,958千円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は680,375千円であり、前連結会計年度末に比べ224,050千円増加いたしました。支払手形及び買掛金が103,853千円減少した一方で、短期借入金が300,000千円、賞与引当金が52,701千円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は176,809千円であり、前連結会計年度末に比べ5,215千円減少いたしました。長期借入金が5,250千円減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,968,534千円であり、前連結会計年度末に比べ228,784千円減少いたしました。利益剰余金が207,862千円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は予定通り推移しており、2018年9月6日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,091,752	1,260,722
受取手形及び売掛金	592,534	256,157
有価証券	—	51,120
商品及び製品	547,385	503,583
仕掛品	13,559	45,654
原材料及び貯蔵品	182,489	180,371
その他	118,959	135,781
流動資産合計	2,546,681	2,433,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	230,929	227,799
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	327,939	416,898
土地	16,794	16,794
有形固定資産合計	575,663	661,492
無形固定資産	59,462	72,228
投資その他の資産		
投資有価証券	469,760	398,650
その他	184,101	259,959
投資その他の資産合計	653,861	658,609
固定資産合計	1,288,987	1,392,330
資産合計	3,835,669	3,825,719
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	281,175	177,322
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	21,000	21,000
未払法人税等	11,681	6,667
賞与引当金	28,367	81,068
その他	114,101	94,318
流動負債合計	456,324	680,375
固定負債		
長期借入金	168,500	163,250
資産除去債務	13,524	13,559
固定負債合計	182,024	176,809
負債合計	638,349	857,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,503,745	1,503,745
利益剰余金	963,774	755,911
自己株式	△505,530	△505,530
株主資本合計	3,321,339	3,113,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△133,620	△153,953
為替換算調整勘定	9,600	9,011
その他の包括利益累計額合計	△124,019	△144,942
純資産合計	3,197,319	2,968,534
負債純資産合計	3,835,669	3,825,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2017年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2018年10月31日)
売上高	557,410	259,572
売上原価	176,757	103,568
売上総利益	380,652	156,003
販売費及び一般管理費	460,625	441,947
営業損失(△)	△79,972	△285,943
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,171	646
為替差益	6,419	2,663
投資有価証券売却益	5,086	—
その他	142	8
営業外収益合計	12,819	3,319
営業外費用		
支払利息	121	352
その他	5	16
営業外費用合計	127	368
経常損失(△)	△67,280	△282,992
税金等調整前四半期純損失(△)	△67,280	△282,992
法人税、住民税及び事業税	15,419	800
法人税等調整額	△21,788	△75,930
法人税等合計	△6,369	△75,130
四半期純損失(△)	△60,911	△207,862
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,911	△207,862

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2017年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2018年10月31日)
四半期純損失(△)	△60,911	△207,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,155	△20,332
為替換算調整勘定	11,202	△589
その他の包括利益合計	△2,953	△20,922
四半期包括利益	△63,864	△228,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△63,864	△228,784
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年8月1日至2017年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	IP ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	516,472	40,937	557,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	516,472	40,937	557,410
セグメント利益又は損失(△)	9,793	△89,766	△79,972

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年8月1日至2018年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	IP ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	182,464	77,107	259,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	182,464	77,107	259,572
セグメント損失(△)	△243,111	△42,832	△285,943

(注)セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。